

関西大学第一高等学校・第一中学校  
2024年度学校評価報告書



2025年3月

# 目 次

1	本校の概要 .....	1
2	今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策 .....	2
3	アンケートの実施状況について .....	8
4	アンケート結果の分析 .....	9
5	学校関係者評価委員会からの評価結果 .....	15
6	校長の意見書 .....	18
7	アンケート結果 .....	19

## 1 本校の概要

### (1) 沿革

大正元年 8 月	文部省告示を以て社団法人関西大学附属「私立関西甲種商業学校」設立認可
大正 2 年 4 月	本科 3 年制として開校
大正 13 年 4 月	「関西大学第二商業高校」設置認可、開校
昭和 4 年 9 月	天六新学舎が竣成し、従前の福島学舎から移転
昭和 19 年 3 月	第二商業高校、戦時学制改革により廃校
昭和 22 年 4 月	学制改革により関西甲種商業学校在学の 1・2・3 年をもって「関西大学第一中学校」を開校
昭和 23 年 4 月	学制改革により「関西大学附属第一高等学校」を開校
昭和 24 年 3 月	関西甲種商業学校第 34 回（有終）卒業式挙行
昭和 25 年 12 月	旧千里山遊園地を買収、以後関西大学外苑と呼称
昭和 27 年 9 月	校名を「関西大学第一高等学校」と呼称
昭和 28 年 11 月	関西大学外苑高台に関西大学第一高等学校新校舎落成、天六学舎より移転
昭和 30 年 3 月	関西大学第一高等学校 第 7 回卒業式をもって、夜間課程を廃止
昭和 32 年 11 月	関西大学第一高等学校 校舎増築、中学校新校舎工事の落成式を挙行
昭和 36 年 11 月	関西大学第一高等学校 創立 50 周年記念式典挙行
昭和 52 年 11 月	関西大学第一高等学校 創立 30 周年（新制）記念式典挙行
昭和 56 年 3 月	関西大学第一高等学校 新校舎落成
平成 7 年 4 月	関西大学第一中学校 共学化
平成 10 年 3 月	関西大学第一中学校 新校舎落成
平成 10 年 4 月	関西大学第一高等学校 共学化
平成 11 年 2 月	関西大学第一中学校・第一高等学校 体育館兼講堂 秀麗館落成
平成 16 年 1 月	関西大学親和館落成
平成 25 年 8 月	関西大学第一高等学校・第一中学校 温水プール落成
平成 25 年 11 月	関西大学第一高等学校 創立 100 周年記念式典挙行 一高一中校舎リニューアル 正門整備 ICT 教育設備完成
平成 27 年 2 月	関西大学第一高等学校グラウンド人工芝改修
平成 27 年 9 月	関西大学第一中学校職員室改装
平成 28 年 3 月	関西大学第一中学校 1 号館会議室改装
令和 5 年 12 月	関西大学第一高等学校・中学校 新校舎景風館落成

### (2) 建学の精神、教育理念・教育方針・教育目標等

第一高等学校・第一中学校は「関西大学の併設校として、関西大学の建学の精神を受け継ぎ、真理に立脚した正義と近代市民の生活に根ざした自由かつ進取な気風を標榜して、心豊かな、有

為な人材を育てることを根本に据える」という教育理念のもと、次のような教育方針並びに教育目標を掲げ、さらなる向上と充実に向けて、学校教育計画を策定している。

教育方針「正義を重んじ誠実をつらぬく」

- ① 青少年が内に蔵する無限の可能性を尊重し、これを啓発する。
- ② 生徒自身の真の幸福を追求する。
- ③ 進取の気性を養い、規律を重んじ、協同の自治と精神を育成する。

教育目標「知育・徳育・体育の高度に調和した人間教育」

- ① 将来につながる基礎的知識を確実に身につける。
- ② 集団の中における自己の責任を自覚し、豊かな人間性を育てる。
- ③ 自己の健康に留意し、体力の向上をはかる。

## 2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策

(1) 重点目標①：基礎学力ならびに幅広い教養を身につける。

達成状況の目安：(◎)大幅達成・(○)達成・(△)未達成・(×)大幅未達成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア 成績不振生徒に対してフォローを行い、基礎学力の向上を目指す。</p> <p>【評価指標】</p> <p>&lt;高校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校1・2年は年間4回の補習と成績下位者対象の補習、高校3年は独自テストや大学入学共通テストの補習を適宜実施する。</li> </ul> <p>&lt;中学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査の結果を踏まえ、5教科を中心に4時間の補習を2、3学期期末考査前に実施する。</li> </ul>	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>(高校)</p> <p>既定の補習に加え、授業時の小テスト等で点数が下位の生徒に対して一定の点数が取れるまで複数回、補習を行った。</p> <p>(中学校)</p> <p>5教科を中心に、既定の補習時間を確保し実施した。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <p>高校(◎)</p> <p>5教科を中心に補習を実施した。</p> <p>中学校(◎)</p> <p>5教科を中心に補習を実施した。加えて、他の教科についても必要に応じて補習を実施した。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>(高校)</p> <p>補習の回数や時間について効果の検証を行い、より効果のある補習の実施を検討する。</p> <p>(中学校)</p> <p>定期考査への補習だけでなく、様々なレベルの学力補習を行えるよう検討する。授業での質問事項や、課題の質問にこたえるなど、より効果のある補習を行うことを考えている。</p>
<p>イ タブレット端末を活用し、多様な生徒1人ひとりに個別最適化された、資質・能力が一層育成できる教育を実施</p>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>高校全学年のホームルーム教室にApple TVを設置することで、生徒のiPadの画面を教室のプロジェクタで投影することが容易</p>

<p>する。</p> <p><b>【評価指標】</b> iPadなどの電子機器が授業の内容を理解するのに役立っているというアンケートで回答した生徒が75%以上いる。</p>	<p>となり、これまで以上に教員が「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業展開を行えるようにした。</p> <p>また、「調べ学習」がより充実したものになるように、日本経済新聞電子版を教員・生徒ともに利用できるように整備した。</p> <p><b>【達成状況(Check)】</b> (◎) アンケートでは、中学校・高校とも90%以上の生徒が、電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると回答している。</p> <p><b>【今後の改善方策(Action)】</b> タブレット端末の活用によって、これまで以上に「個別最適な学び」と「協力的な学び」を充実させることで、「主体的・対話的な学び」を実施していき、生徒の資質・能力を育成させるべく、今後も機器の整備、研修の実施などを行っていく。</p>
<p>ウ 大学での学びに触れる機会を確保し、必要学力認識のきっかけとする。</p> <p><b>【評価指標】</b> ・各大学が実施するセミナー等に、より多くの生徒の参加を促す。</p>	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p><b>【取組状況(Do)】</b> これまでの土曜放課後に、希望者のみ参加する形で実施していたものを、授業時間内の実施とし、在籍生徒全員がいずれかのセミナーを選択して受講する形に、切り替え実施した。</p> <p><b>【達成状況(Check)】</b> (◎) 全高1・2年生が参加（昨年度までは希望者のみ）</p> <p><b>【今後の改善方策(Action)】</b> 前年度とは異なる学部のセミナーに選択を限定し、幅広い学部の情報をもとに生徒が進路選択を進めていけるよう制度設計する。</p>

(2) 重点目標②：豊かな人間性を育成する

<p>取組計画及び評価指標(Plan)</p> <p>ア マナー、モラル向上のための指導を行い、規範意識を高める。</p> <p><b>【評価指標】</b> ＜高校＞ ・規範意識を高める集会を年間3回実施する。風紀委員会を学期に1回以上開き、風紀向上の啓発を行う。</p>	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p><b>【取組状況(Do)】</b> (高校) 各学期の始業式や終業式での校内テレビ放送、学年集会等を通じて社会のルールやモラル向上についての指導を行った。風紀委員会からは校則に関する啓発のための掲示物(デジタルサイネージ)を作成した。生徒会役員と連携し、食堂利用のマナー向上の呼びかけを行った。 (中学校) 各学期の始業式や終業式、学年集会等を通じて社会のルールやモラル向上についての指導を行った。</p>
--	--

<p>&lt;中学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識を高める集会を年間3回実施する。</li> </ul>	<p>【達成状況 (Check)】</p> <p>高校(○)</p> <p>啓発や呼びかけを行うものの、校外では電車マナーに関する苦情、校内では服装の乱れやスマホ使用に関する指導が複数件見られた。</p> <p>中学校(○)</p> <p>規範意識を高める全校集会を4回実施した。電車内や駅構内でのクレームは毎学期あったが、今年度は本校生徒に対して感謝の連絡を受けたこともあった。</p> <p>【今後の改善方策 (Action)】</p> <p>これまで同様に集会で規範意識を高めるとともに、生徒会と連携してマナー、モラル向上の啓発に努める。</p>
<p>イ 生徒が安心、安全な学校生活を送れるように支援体制を整える。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒対象に防犯教室や熱中症対策講習会などの研修会を中高それぞれ2回ずつ実施する。教員対象に救急救命や学校でよく起きる事故についての研修会を2回以上実施する。</li> </ul>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況 (Do)】</p> <p>健康診断の実施とデータを踏まえ、保健室と連携を取りながら指導を行った。生徒対象の講演会等は、4月に中1・高1へ防犯教室（警察署協力）と情報機器の使用方の注意喚起を行い、6月に高1へ講演会「心の健康について考える（吹田市保健所協力）」を初めて実施し、ストレスとは何なのか、その付き合い方などを学んだ。12月に中2へ救急救命講習会（吹田市消防協力）、2月に高2へ献血セミナー（日本赤十字社協力）を行い、命の大切さを学び、命を守るために自分に出来ることは何かを考えるきっかけとなった。その他、年間を通じて、熱中症予防と感染症予防を呼びかけ、その対策に取り組んだ。教員対象の講演会については、5月に救急救命講習会を実施し、6月に「自殺と自傷、理解と支援」、11月に「愛着に課題のある生徒への理解と支援」について理解を深め、教員間で共有することの大切さを感じた。</p> <p>【達成状況 (Check)】 (◎)</p> <p>今年度は、計画通りに講演会や講習会を実施することができた。</p> <p>【今後の改善方策 (Action)】</p> <p>性教育について教科や人権教育部と連携して生徒への教育を行う。</p>
<p>ウ 人権意識を育む。</p> <p>【評価指標】</p> <p>&lt;高校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権HRを各学年、学期に1回以上実施する。</li> </ul>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況 (Do)】</p> <p>(高校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権HRを各学年、学期に1回以上実施した。</li> <li>・全学年で「いじめに関するアンケート」を実施した。</li> </ul>

<p>・いじめに関するアンケートを実施する。          &lt;中学校&gt;</p> <p>・いじめに関するアンケートを年2回実施する。</p> <p>・人権講演会を各学年1回以上実施する。</p>	<p>(中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で「いじめに関するアンケート」を2回実施した。</li> <li>・全学年で、人権講演会を2回実施した。</li> </ul> <p><b>【達成状況(Check)】</b></p> <p>高校(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で人権HR(動画視聴による人権講演会含む)を学期に1回以上実施した。</li> <li>・全学年で「いじめに関するアンケート」を2学期に実施した。</li> </ul> <p>中学校(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめに関するアンケートを5月と10月に実施した。</li> <li>・人権講演会を全学年2回実施した。</li> </ul> <p><b>【今後の改善方策(Action)】</b></p> <p>(高校)</p> <p>時代の変化に応じたテーマや手法を通じて、生徒の人権意識を育み高めるための人権HRを創意・工夫して行う。</p> <p>(中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめに関するアンケート」において無回答の生徒数を減らす方策を検討する。</li> <li>・人権講演会の新たなテーマ・講師を検討する。</li> </ul>
<p>エ 各大学のセミナー等への参加を通して、挨拶や身だしなみのマナーを身につける。</p> <p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加にあたり、マナーについての注意と振り返りをさせる。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p><b>【取組状況(Do)】</b></p> <p>参加案内にマナーについて記載し、担任・会場担当者から都度注意を促した。</p> <p><b>【達成状況(Check)】</b> (○)</p> <p>セミナー開始時と終了時の挨拶、集合場所の遵守、服装を含む受講態度全般はできていた。</p> <p>セミナー時間が50分を超えるものは、明らかに生徒の集中力が途切れる状態となってしまった。</p> <p><b>【今後の改善方策(Action)】</b></p> <p>事前案内にも受講時のマナーについて記載し、生徒への周知を徹底する。</p> <p>会場担当者へのマナー指導の共通項目を作成する。</p>

(3) 重点目標③：より良い授業を追求する

<p>取組計画及び評価指標(Plan)</p>	<p style="text-align: center;">自己評価</p>
<p>ア 特別な教科道徳の授業力の向上を図る。</p>	<p><b>【取組状況(Do)】</b></p> <p>校内で各種講演会及び研修会に参加し、授業力向上に努めた。</p>

<p><b>【評価指標】</b></p> <p>・ 道徳教育に関する授業力向上研修会に3回参加する。</p>	<p><b>【達成状況(Check)】</b> (×)</p> <p>校外での研修会への参加は未達成である。</p>
	<p><b>【今後の改善方策(Action)】</b></p> <p>校外の研修等にも積極的に参加する。</p>
<p>イ 教科ごとや教科を横断した研修会を実施する。</p> <p><b>【評価指標】</b></p> <p>・ 年間2回以上の研修会を開催する。</p>	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p><b>【取組状況(Do)】</b></p> <p>対面形式・動画配信形式の方法で実施した。(対面形式での教員研修会を2回・人権研修会を1回・救命救急講習会で1回、教員研修会欠席者用に動画配信形式で1回)</p> <p><b>【達成状況(Check)】</b> (◎)</p> <p>教員研修会は6月に臨床心理士・学校心理士スーパーバイザーの阪中順子先生に「教員が知っておきたい危機対応」のテーマで講演していただき、自殺と自傷について教員に求められる心の危機絵の理解と支援について、危機対応としてハイリスクな子供絵の対応、学校内外のネットワークの構築等について話しあった。</p> <p>11月には桃山学院教育大学で臨床教育学を教えておられる松久眞美先生に「愛着に課題のある生徒に対して学校が出来る支援と保護者対応」のテーマで講演していただき、発達障害や愛着障害の関連性、虐待による心理的ダメージ等について話し合った。</p> <p>人権研修会は2月にNPO 法人アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク(NAAH)理事の川西寿美子先生に「いじめ(人権侵害事象)発生時の組織的対応」のテーマで講演していただき、いじめはなぜ起こるのか原因から考えるいじめの防止について話し合った。</p> <p>救命救急講習会は各先生方に事前にWeb講習を受講していただき、5月実技講習として応急手当普及員の中山先生、梁川先生に講師になっていただき普通救命講習Ⅰを修了していただいた。応急手当の重要性、心肺蘇生法(主に成人を対象)、AEDの使用法、異物除去法、止血法を学んだ。</p> <p>景風館3階設置の垂直型救助袋の説明と体験会は大阪ガスファシリティーズから救助袋設置方法の説明と避難体験を実施した。</p> <p>また研修会欠席者には動画配信をし、動画視聴してもらい出席者と同様の知識を習得してもらった</p> <p><b>【今後の改善方策(Action)】</b></p> <p>今後も教員のスキルアップの研修会を実施し参加人数を増やしていきたい。そのために必要に応じて、研修内容・方法等の見</p>

	直しを行うとともに、将来的な在り方についても検討を行う必要がある。
ウ 防災教育のさらなる充実を目指す。 【評価指標】 ・避難訓練を中学校、高校それぞれ2回ずつ行い、緊急時の行動を教員と生徒が理解できるようにする。本校防災マニュアルの見直しを図る。	自己評価 【取組状況(Do)】 5月に中学校・高校それぞれで避難訓練を実施した。中学校では新校舎(景風館)での初めての訓練であり、新たに課題が見つかった。9月には「大阪880万人訓練」に合わせた訓練を予定していたが、今年度も放課後実施となり、避難訓練は実施せず、教室で防災意識を高める取り組みを行った。 11月には教員数名で関大防災デーに参加し、災害時の備蓄倉庫見学や消火器・消火栓の使い方を体験した。さらに、12月には景風館3階に設置されている救助袋のレクチャーと体験会を実施し、災害時にどのように行動すればよいかを教員間で確認した。 【達成状況(Check)】 (△) 避難訓練は5月の実施のみとなったが、9月には「災害直後、命を守る行動とは？」をテーマに防災だよりを配信し、学校内だけでなく、登下校時や家庭における行動について見直す良い機会になった。 【今後の改善方策(Action)】 防火訓練と防災訓練(地震)に分けて実施する。

(4) 重点目標④：学校と家庭の連携を強固にする

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
ア 学校と家庭との連絡を密にする。 【評価指標】 <高校> ・成績懇談会を年間2回と個人懇談を適宜設ける。 <中学校> ・保護者との懇談会を年間2回実施する	【取組状況(Do)】 (高校) 既定の懇談会と個人懇談の実施に加えて、必要なご家庭とは複数回の個人懇談を実施した。 (中学校) 2回の懇談会を実施することができた。 【達成状況(Check)】 高校(◎) 予定通り懇親会並びに個人懇談を実施した。 中学校(◎) 予定通り保護者との懇談を、1学期・2学期と実施することができた。

	<p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>(高校)</p> <p>オンラインツール等の活用も含めて、学校と家庭との連絡がより効果的になるよう検討を行う。</p> <p>(中学校)</p> <p>保護者とのコミュニケーションをより密にし、保護者と連携して面談などで生徒の支援ができるように検討する。</p>
<p>イ ウェブページの充実を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <p>・生徒、保護者対象アンケートで、ウェブページを活用しているという回答が75%以上。</p>	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>今年度、ホームページのリニューアルを行い、スマホからも各種情報にアクセスしやすくした。</p> <p>【達成状況(Check)】 (○)</p> <p>保護者ポータルサイト(ウェブページ)の利用について、保護者・教員が92%~95%で利用しているとの回答から、大幅達成と考えられる。他方で、生徒に関してはMicrosoft Teamsの活用により連携は十分に取れていることが明白であったため、アンケートの実施を割愛した。そのため、状況としては達成とした。</p> <p>また今年度はX(旧ツイッター)での投稿とも連携し、よりタイムリーに受験生・保護者に本校の入試関連の情報(中高とも)を提供することができた。とりわけ高校ホームページの『中学教員向け入試情報』については、随時更新していく形態を取り、中学校側から問い合わせの多い項目に対して、より迅速にかつ明示的に回答することができた。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>今年度の反省点を踏まえ、欲しい情報がより早く・より正確に伝えることができるように改善を図りたい。</p>

### 3 アンケートの実施状況について

本校の「学校評価(自己評価)」は、「教員への自己点検・評価アンケート」とともに、「生徒アンケート」・「保護者アンケート」により評価を行った。なお、「生徒アンケート」・「保護者アンケート」は中学校・高校の全生徒・全保護者に行った。実施方法については昨年度と同様にWeb上で行った。本校独自の評価項目については、昨年度と同評価及び改善方法等を検討し、本年度の教育活動を点検した上で、10月29日の本校「自己点検・評価委員会」において決定した。12月2日にアンケート本文を配信し、12月14日を回収締切日としたが、インフルエンザによる学年閉鎖等もあり、回収率が低かったため、締切を延期して再度アンケートへの回答を呼び掛けた。「教員へのアンケート」の有効回答は61件(回収率70.1%)であった。「生徒アンケート」は、高校の有効回答は972件(83.6%)、中学校は607件(88.0%)であった。「保護者アンケート」の有効回答は、高校778件(66.9%)、中学校509件(73.8%)であった。Web上での無記名のアンケートを開始して3年目であるが、どのようにして回収率を上げるのかが今後の課題である。

## 4 アンケート結果の分析

実施対象別のアンケート結果を基に以下のように分析した。

A:あてはまる、B:ややあてはまる、C:あまりあてはまらない、D:あてはまらない

### (1) 学校全般

昨年度と同様に、「学校生活は楽しいと感じているか」という設問に対する生徒のA・B合計結果は、高校生95%・中学生94%となっており、生徒たちが楽しく充実した学校生活を送っている様子が伺える。また、「この学校に入学させて良かったと思うか」という設問に対する保護者のA・B合計結果は、高校94%・中学校93%であり、保護者の学校全般に対する満足度も高いことが分かった。その理由として、学業にも、部活動をはじめとする課外活動にも打ち込めるという関西大学の併設校ならではの環境が高く評価されていると考えられる。また中学校新校舎（景風館）が完成し、明るく開放的な雰囲気での学習できる環境が整いつつあることも影響していると考えられる。景風館内のプレゼンテーションエリアは、授業だけでなく、放課後の自習エリアとしてたくさんの中高生が活用していることも充実度につながっている。教員は、生徒・保護者の高い満足度を今後も維持するために、より魅力ある学校づくりに向けた努力を継続することが必要である。ただ、「入学前に描いたイメージ通りの学校でしたか」という質問に対するA・B合計結果が、保護者では高校で81%、中学校81%であったのに対し、生徒においては高校で69%（昨年度72%）、中学校で74%（昨年度67%）であった。昨年度に比べると中学校は7%増加しているが、高校生は3%減少している。保護者に比べると生徒は入学前のイメージと入学後の実感のギャップが比較的大きいと感じているようである。教員は、今まで以上に生徒とコミュニケーションをとり、日々の学校生活の中で生徒が学校に対する不安や不満を抱くことがある場合には、改善に努めていくべきであると考えられる。

### (2) 学校運営

#### ① 私学の独自性

「教育方針・教育目標」について

「本校の教育方針・教育目標を理解しているかどうか」の設問に対する保護者のA・B合計結果は、高校で91%、中学校で93%となり、理解度が高いことが分かった。生徒のA・B合計結果は、高校で77%、中学校で84%となり、中学生と比べると高校生の理解度が少し低い結果となった。今後も生徒たちが関大一中・一高生として望ましく成長していけるよう、全校集会や学年集会、HR等の機会を通して、本校の教育方針や教育目標の理解・実践を促していく必要があると思われる。

#### ② 危機管理

「避難訓練や安全対策」について

「避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じているか」という設問に対する保護者のA・B合計結果は高校で80%、中学校で83%となり、「災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられていると思うか」という設問に対して、生徒のA・B合計結果は高校で84%（昨年度82%）、中学校で90%（昨年度83%）と、ともに高い数値であった。

具体策として、全学年対象の避難訓練、新入生対象の防犯教室（吹田警察署協力）を実施した。さらに、日々の地道な取り組みとして、複数教員による登下校時の見守り・指導を継続し、交通機関遅延時の情報提供、振替輸送のための引率等を行った。これらの安全対策が保護者・生徒からの高い評価につながったと考えられる。

#### 「感染症拡大防止策」について

「校内での感染症拡大対策が適切に行われているか」という設問に対する保護者の A・B 合計結果は、高校で 78%（昨年度 82%）、中学校で 81%（昨年度 85%）となり、生徒の A・B 合計結果は、高校で 75%（昨年度 85%）、中学校で 83%（昨年度 83%）となっている。中学校では、今年度から手洗いの場所が増え、手洗いと教室換気の習慣が定着してきている。しかし、高校では手洗いの場所が十分に確保出来ていないのが現状である。現在建設中の高校新校舎では、その点は改善される方向である。学校現場では、引き続き生徒の生命・健康を第一に考えた対策を講じていくことが必要であると思われる。

### （3）教育内容・生徒支援

#### ① 知育

##### 「学力向上のための組織的な取り組み」について

「本校は学力向上のために組織的な取り組みを行っている」という設問に対して、「授業を通じ、自分の学力は向上している」と感じている生徒の A・B 合計結果は高校で 72%、中学校で 81% となり、昨年度より微減となった。また、「学力向上のための組織的な取り組みを行っている」という設問に対し、教員の肯定的な回答は 71%であった。「学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っている」については、教員の A・B 合計結果は 77%、「学習状況の説明や家庭環境の把握のため、保護者との懇談や連絡を緊密に行っている」については、教員の A・B 合計結果は 95%であった。このことから、学校としての組織的な学力向上策が十分でないと認識している教員が一部いることが伺える。一方で、個々の教員は生徒への指導や保護者への連絡をきめ細かく行っていると言える。中高一貫校だからこそ「6年間」を視野に入れた指導計画や、教科横断的な授業等の取り組みを行い、一組織としての教育を推し進めていく必要が有ると思われる。

##### 「電子機器の利用」について

「iPad などの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると思いますか」という設問に対する保護者の A・B 合計結果は、高校で 89%、中学校で 84%となり、生徒においては高校で 91%、中学校で 92%とともに高い数値となった。現在の在校生は、入学時より一人一台タブレット端末を使用しており、生徒・教員ともに Microsoft Teams や電子機器の活用が浸透してきていることが伺える。今後、教員が電子機器をさらに活用し、その実践内容や情報を共有することで、教員・生徒の電子機器のリテラシーの向上と共に、学習方法の多様性が高まり、総合的な学力が高まることが期待できる。BYOD が整備されたことで、今後は「何で学ぶか」から「何を学ぶか」という教育の本質が問われることになるであろうと思われる。

「スローラーナーへの対応」について

「成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか」という設問に対する生徒のA・B合計結果は、高校で85%、中学校で82%であった。また、「習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取り組みが十分に行われている」という設問に対する保護者のA・B合計結果は、高校72%で、中学校で72%であった。スローラーナーへの支援として、改めて本校での学習サイクル（授業→復習・宿題→定期考査→ふり返し）について理解を深めるとともに、日々の地道な学習が重要であることを伝えていく必要があると思われる。

「保護者との連携」について

「学校からの連絡や懇談は緊密に行われているか」という設問に対する保護者のA・B合計結果は高校で77%、中学校で78%であった。「学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との懇談や連絡を緊密に行っている」については、教員のA・B合計結果は95%であった。このことから、概ね保護者との連携が取れていると思われるが、今後も引き続き保護者との良好な関係性を保つことが必要である。

## ② 徳育

「社会規範の理解とモラルの醸成」について

「社会のルールの遵守、マナーやモラルを向上させる取り組み」についての項目ではA・B合計結果が教員で89%、保護者は高校で86%、中学校で87%、生徒は高校で78%、中学校で85%であった。全体として高い評価を得ており、今後も継続して指導をし、マナー・モラルの向上に努めたい。

「いじめへの対応」について

「いじめの実態把握と防止」に関する項目ではA・B合計結果が教員で97%、保護者は高校で86%、中学校で88%、生徒では高校で82%、中学校で83%であった。「いじめを許さない指導」に関する項目に対して高校で18%、中学校で16%の生徒が「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答していた。このことから、少数の意見にも真摯に向き合い、いじめを許さない指導をさらに強化する必要があると思われる。

「情報機器とのつきあい方」について

「情報機器の正しい使い方に関する指導の適切さ」に関する設問に対して、A・Bの合計結果が保護者は高校で79%、中学校で79%、生徒は高校で84%、中学校で88%であったのに対し、教員は80%であった。中学校・高校ともに図書情報部、人権教育部を中心に、学年での人権講演会やHRを通して、SNS・インターネットにおける人権侵害の危険性を啓発する教育が行われている。今後も、個々の教員がさらに研修を重ね、教員自身の情報機器リテラシーを高めるとともに、生徒に対する情報機器の使用方法に関するより良い指導方法を研究していく必要があると思われる。

### ③ 体育

「健康な身体づくり」について

「基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思いますか」という設問に対して、保護者・生徒・教員すべてにおいてA・B合計結果が86%~95%と、高い数値となった。保健体育科の正課授業や運動部での指導が、保護者・生徒から高い評価を受けていると思われる。

### ④ 学校生活

「学習や部活動の施設・設備」について

「学習や部活動の施設・設備は充実していると思いますか」という設問に対する高校・中学校の保護者・生徒のA・B合計結果が82%~94%と高い評価であった。2023年12月に新校舎景風館が完成し、さらに現在高校校舎も建設中であり、生徒・保護者の満足感・期待感から高い数値となったと考えられる。これに対して教員のA・Bの合計結果は52%にとどまった。今後さらに高校新校舎が完成すれば、施設面が拡充される予定なので、生徒の学習や部活動のさらなる充実が期待される。

「生徒会・委員会活動の推進」について

「学校行事において、生徒会や各委員会は活躍していたと思いますか」という設問に対する学校行事に対する生徒会・各委員会活動について、A・B合計結果が高校生が94%、中学生が94%、教員が98%と高く評価された。高校においては体育祭、関一祭り、中学校においては、球技大会や体育大会、合唱コンクールの実施が生徒の満足感を上げたと思われる。

「学校行事(宿泊行事・校外学習)」について

「宿泊研修や校外学習など、校外での活動、学習は充実しているとおもいますか」という設問に対する生徒のA・B合計結果は中学校で96%、高校で77%であった。中学校と高校での行事の回数の違いが結果に反映されたと考えられる。教員のA・B合計結果は97%、保護者は中学校で91%、高校で88%であったことから、宿泊行事や校外学習が、生徒の自主性・自発性を高めっていると評価している。

「情操教育」について

「芸術鑑賞会などが充実していると思いますか」という設問に対する中学校の保護者・生徒、教員のA・B合計結果は、91%~98%とかなり高評価であった。高校の生徒も87%と高評価であったのに対し、保護者では74%となった。中学校では保護者も芸術鑑賞会に参加できるが、高校の古典芸能鑑賞会には保護者の参加ができず、どんな内容であるのかご存じない方も多くいらっしゃるため、このような結果になったことも考えられる。古典芸能は、自国の文化に関する教養を身につけるためにも、次年度以降も学校行事として継続して開催されるべきであると考えられる。

#### 「教員に対する相談」について

「勉強や学校生活について、生徒から教員に質問や相談がしやすいと思いますか」という設問に対する保護者のA・B合計結果は、高校で76%、中学校で75%、生徒のA・B合計結果は、高校で83%（昨年度88%）、中学校で81%（昨年度73%）となった。一方で、教員のA・B合計結果は98%となり、まだ生徒・保護者と教員間での大きな隔りがある。中学生のA・B合計率が昨年度より8%アップしたのは、日々生徒と細やかなコミュニケーションを取っている教員の努力が数値に表れているものと思われる。しかし、高校生では5%ダウンとなっている。普段から生徒への声掛けをしていくことで、相談しやすい雰囲気を作ることができると思う。この結果を真摯に受け止め、生徒とのジェネレーションギャップも考慮しつつ誠実に向き合う姿勢をもつ必要があると思われる。

#### 「人権を配慮した生徒との接し方」について

「教員の指導方法は人権に配慮したものであると感じますか」という設問に対する高校・中学校の保護者のA・B合計結果は、85%、生徒のA・B合計結果は、高校で83%、中学校で87%であったが、教員のA・B合計結果は98%となり、評価が分かれた。低迷していた中学生のA・B合計が昨年より9%アップしたことは、個々の生徒に寄り添いきめ細やかな対応がされている成果であると思う。しかし、生徒・保護者と教員間では数値としてまだ大きな隔りがあるため、より一層、中学生・高校生の人権を十分に配慮した言動・指導を心掛けるべきだと思う。

### ⑤ 学校間連携

#### 「中高大連携事業の実践」について

「高大の教育連携が積極的に行われていると思いますか」という設問に対する高校の保護者A・B合計結果は86%、生徒は87%と高評価であった。一方で、「中大、中高の学校同士の教育連携があると思いますか」という設問に対して、中学校の保護者A・B合計結果は73%、生徒は81%であった。教員のA・B合計結果は75%であった。中学校の生徒・保護者の認識よりも高校の生徒・保護者の認識の方が比較的高い。それは、高大連携プログラムやセミナーが多く開催され、頻りに連絡がくるので、生徒・保護者の意識も自ずと高くなっていると思われる。その一方、中大連携のプログラムやセミナーは存在しないので、上記結果は当然のことであると思われる。中大だけでなく中高連携のプログラムなどを計画し、中学生が希望を持って高校へ進学できるように、中高生が触れ合う機会を増やしていくことも必要である。

#### 「進路情報の提供」について

「進路に関する情報は、提供されていると思いますか」という設問に対する高校の保護者・生徒のA・B合計結果は、保護者が87%、生徒が91%であった。中学校の保護者・生徒のA・B合計結果は、保護者が82%、生徒が90%であった。中学校においては、関大一高へ進学する生徒が多く、一高の情報は得られるが、一高以外の進路を選ぶ生徒や保護者にとっては情報不足であるのが現状である。生徒や保護者がより多くの情報から自分に合う進路選択ができるよう、改善していく必要がある。高校においては、生徒・保護者の肯定的な回答の割合が非常に高く、

今後も適時的確に情報提供を行いたい。

## ⑥ カウンセリング

「カウンセリング体制」について

「悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていると思いますか」という設問に対する高校の保護者・生徒の A・B 合計結果は、保護者が 80%、生徒が 82%であった。中学校の保護者・生徒の A・B 合計結果は、保護者が 86%、生徒が 80%であった。カウンセリングがネット上で予約できるようになり、空き日や空き時間が分かりやすく高評価を得ている。特に、中学校保護者のカウンセリング利用率が高く、子育てに関して悩みや不安を抱えている保護者が多くいることが伺える。しかし、教員の A・B 合計結果が 95%であったことを考えると、教員が思うほどには、生徒・保護者がカウンセリング体制の充実を感じているわけではないとも言える。特に、中学生にとっては、カウンセリングを受けることに、比較的、抵抗感があると見受けられるため、相談相手として教員の役割が重要であると考えられる。

生徒が抱える問題は、学習、友人関係、SNSトラブル、いじめ、親子関係、LGBTQ の課題、将来に対する漠然とした不安など多岐にわたる。生徒の問題や課題の背景にどのようなものがあるのかを見て、教員間で共有して取り組んでいくことが重要である。これまで以上に、生徒や保護者にとって、教員が相談しやすい、信頼できる相手でいられるよう、教員自身が常に心がける必要がある。教員の力だけでは足りない点は、スクール・カウンセラーの力も非常に重要になるだろうと思われる。カウンセリング・ルームが、より身近で垣根の低い相談の場となるよう、カウンセラーの増員、利用時間の拡充も、併せて検討すべきだと考えられる。

## (4) 研修

「校内外における教員研修」について

「工夫された授業や、おもしろい実験などが取り入れられていると思いますか」という設問に対する生徒の A・B 合計結果は中学校が 94%、高校が 77%であり、中学校・高校間でかなり大きな隔たりがあった。中学校では、カリキュラム的に余裕があり、授業の中で様々な工夫を取り入れることができるが、高校では年々各教科の指導内容が増え、工夫を取り入れる（進度面での）時間的余裕が無いことが影響していると考えられる。しかし、大学の併設校としてのメリットを生かし、より体験的な授業を取り入れていく必要があると考える。

「本校の教員は、教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われますか」という設問に対する中学校・高校保護者の A・B 合計結果は 79~81%であり、保護者にも概ね高い評価を得ていると思われる。

教員対象の「本校は、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための校内外の研修体制が充実している」という設問に対する A・B 合計結果は 79%であり、昨年より 7%アップした。本校では、全ての教員が、日々、授業準備・生徒の生活指導・校務・保護者対応・部活動など多岐にわたる膨大な業務に追われ、実に多忙であり、校外での研修に行くことが難しい。そのため、校内の研修をより充実したものにするよう、教科だけでなく各部も連携を取り、教員研修会を行っている。今後はさらに、個々の教員が校外で学んだことを教員間で共

有し、互いにスキルアップできるような体制を整えていく必要がある。

#### (5) その他

##### 「食堂」について

「食堂は利用しやすいと思いますか」という設問に対する生徒の A・B 合計結果は、中学校・高校ともに 87%となった。保護者の A・B 合計結果は中学校が 69%、高校が 71%であった。生徒と保護者の回答の間に大きな隔たりがみられた。このアンケートからは、保護者の肯定的な回答が伸び悩んだ具体的な理由は見えないが、今後は、メニューの改善など、生徒・保護者ともに使用しやすい食堂の在り方を考えていく必要があると思われる。

##### 「保護者ポータルサイト」について

「保護者ポータルサイトを有効に活用できていると思われますか」という設問に対する保護者・教員の A・B 合計結果は 92%~95%となり、高い満足度が伺える。今後も、効率的な欠席確認・連絡ツールとして活用されることが期待できる。

#### 5 学校関係者評価委員会からの評価結果

第一中学校保護者代表として PTA 会長岩田健太郎氏、第一高等学校保護者代表として教育後援会会長田中輝彦氏、多数の生徒たちの進学先である関西大学の教学を代表して関西大学人間健康学部教授安田忠典先生に今回のアンケート結果や自己評価に関するご意見を頂戴した。今後の本校教育にとって貴重なご意見、ご要望を頂戴することができた。以下、それらのご意見を記述する。

##### 【関西大学第一中学校 P T A 会長 岩田健太郎氏】

学校生活全般評価において、90% を超える保護者・生徒が楽しく充実した生活を送っていると感じていることは、高校受験に左右されない伸び伸びとした教育環境や、新校舎（景風館）での明るく開放感のある環境が期待通りであった、と読み取れます。その一方、入学前のイメージとのギャップがあると回答している保護者・生徒が 20~30%程度いることは興味深い点です。イメージが先行することは学校に限らずよくありますが、事実、ギャップがあると回答した保護者・生徒も含め、90%を超える保護者・生徒が楽しく充実した生活を送っていることは、やはり、この学校でしか創り出すことのできない教育環境の良さを表しているのではないのでしょうか。ただし、ギャップをもったまま不安を抱えている生徒も少なからずいることも事実であり、結果に慢心せず、100% を目指して引き続き取り組んでいただきたいと思います。一方、喜ばしい結果に対して、気になる結果もあります。教育・生徒支援において、20~30%程度の教員が学力向上のための組織的な取り組みや、学習や部活動の施設・設備状況、中高大の連携がまだまだ不十分と感じていることです。保護者・生徒は同じアンケートに対して、概ね十分であると回答しており、現在の学校教育計画並びに運営方針に満足していると読み取れますが、教員としては、まだまだ向上のための教育環境の改善が必要であり、属人的ではなく組織全体として取り組むべきであるとの非常に強い使命感を持ったメッセージではないかと考えています。学校を取り巻く環境は急速に変化しており、新校舎建設はその流れの中、時期としては非常に良いタイミングだったと思

います。しかしながら、昨今の IT やコミュニケーションツールの進化は目覚ましく、また、急速なグローバル化と多様性を許容する時代です。今までの慣習にかかわらず、時代の流れに合わせた多角的また、前衛的な教育カリキュラムが教員・保護者・生徒ともに活用できる環境が整備され、ますます魅力的な学校となることを期待します。

【関西大学第一高等学校 教育後援会会長 田中輝彦氏】

関西大学第一高等学校・中学校の教職員の皆様の日々のご指導に心より感謝申し上げます。今年度の第一高等学校学校評価アンケートを拝見し、本校の教育活動の成果と今後の課題について考察いたしました。以下に、良い点と改善を期待する点を整理し、総評を述べさせていただきます。

<良い点>

1. 生徒の充実した学校生活と満足度の高さ

生徒アンケートにおいて「この学校に入学してよかった」と回答した割合が高く、保護者アンケートでも「生き生きとした学校生活を送っている」との評価が多数を占めました。これは、教職員の皆様のご尽力の賜物であり、本校の魅力的な教育環境を反映しているものと考えます。

2. 学校行事や課外活動の充実

体育大会や関一祭などの学校行事、生徒会活動への積極的な関与が高く評価されています。また、宿泊行事や校外学習も、生徒の自主性を促す効果が認められました。こうした活動は、学業以外の面でも生徒の成長を支える重要な要素となっています。

3. 教員の指導力と教育の質の向上への取り組み

教員アンケートでは、職員会議や学年会議が機能的に運営されていることや、研修体制が整っていることが確認されました。生徒・保護者の評価においても、授業の工夫や指導方法が概ね高く評価されています。

<改善を期待する点>

1. 進路指導・学習フォローのさらなる強化

生徒・保護者アンケートでは、進路情報の提供や学力低迷時のフォローについて「改善の余地がある」との意見が見られました。特に補習授業や個別指導の充実が求められています。学習支援の体制強化により、すべての生徒が自信を持って進路を選択できる環境を整えることが重要です。

2. 相談体制・メンタルサポートの充実

生徒アンケートでは、「悩みが生じたときに相談しやすいか」の質問に対し、一部の生徒が「相談しにくい」と感じている傾向がありました。保護者アンケートでも同様の指摘があり、教員・カウンセラーとの連携を強化し、生徒が安心して相談できる環境づくりが求められます。

3. ICT 活用のさらなる発展

iPad などの電子機器の授業活用については評価が分かれており、特に保護者の中には「十分に活用されていない」と感じている層も存在します。デジタル教材の活用方法を研究し、より効果的な学習支援につなげることが期待されます。

## 《総評》

本アンケート結果を通じて、本校の教育環境が生徒・保護者・教員の皆様から高く評価されていることが改めて確認されました。これは、教職員の皆様の日々の努力と、生徒一人ひとりを大切にする姿勢の表れであり、心より敬意を表します。一方で、進路指導の強化、相談体制の整備、ICT活用の推進など、今後の課題も見えてきました。今後も学校全体で協力し、より良い学びの場を提供できるよう努めてまいりましょう。教育後援会としても、これらの取り組みを全面的に支援し、学校と共に生徒たちの成長を後押しできるよう尽力してまいります。引き続き、教職員の皆様の熱意あるご指導をお願い申し上げます。

### 【関西大学人間健康学部 教授 安田忠典 先生】

学校評価報告書のお手伝いをさせていただくようになって3年目となりました。このように継続的に関わらせていただくことで、長所も短所もよりよく見えるようになってきたようです。

#### ＜継承されている一中・一高のカラー＞

まず、総合的な観点から、聡明で活発な生徒が多いという長所が挙げられると思います。過去2年間、どうしてもコロナ禍の影響を考慮した見方に偏ってしまっていました。人間健康学部においても、明らかにコロナ禍前とは学生の気質が変化してきています。ところが貴校から進学してこられる学生の多くは、一高生らしい聡明さや高いコミュニケーション力という長所を、あたかもコロナ禍以前の卒業生たちから受け継いでいるかのように保持しています。そして、それこそが一中・一高における教育の伝統ではないかと思います。もちろん一人ひとり個性がありますので、皆同じような気質だということではありません。しかし、押しなべてこれらの長所を備えた学生が多いのは間違いないと言えます。それは、人間健康学部に限らず他学部でもそうで、大学初年次の不安を和らげ、お互いが安心できる「居場所」を形成するうえで貴校の卒業生たちは大いに貢献してくれているのです。少し大仰かもしれませんが、大学卒業後、特に関西圏で暮らし働いている関大OBOGなら、一度や二度は「関大の人はみな人好きやな」「…はコミュ力高いね」といような誉め言葉を頂戴したことがあるはずです。そうした「関大らしさ」の一つの源泉が、貴校での教育にあるのではないかと考えています。翻って、現代日本の中等教育はその大部分が「進学」に注力しすぎてしまっている傾向にあります。それは、学ぶ当事者である生徒たちにとっては、相当の圧迫感を伴っているわけです。そうした抑圧が、積極性や主体性という、次なるステージである高等教育はもとより、人生そのものにおいて最も重要な因子を摘み取ってしまっている感は否めません。ゴールを進学や偏差値に置くのか、生き方や人生に置くのかという極端な議論をするつもりはありませんが、少なくとも抑圧の低い環境が維持されていることの価値は大きいと言わざるを得ません。毎年のアンケート結果は、他校と比較できる性質のものではありませんが、例えば、比較的 low 評価で課題であると考えられる「教員に対する相談」や「学校行事(宿泊行事・校外学習)」などについても、今はどの学校においても難しい課題であり、貴校の生徒と教員との関係は決して悪くはないと思います。むしろ、生徒たちはそれぞれが話しやすい先生をみつけて関係を構築していくという「実践」が多発しているからこそ、上述のような特性が磨かれているのではないのでしょうか。

### <明確な弱点>

しかしながら、こうした長所は、どうしても学力、偏差値といった価値とは相反することになりがちです。このことは、生徒へのアンケートの「授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。」の結果に反映されているかと思います。もちろん、先生方が「重点目標①：基礎学力ならびに幅広い教養を身につける。」として最重要課題に据えられ、今年度は一定の成果をあげられたことは理解しています。とはいえやはり自覚的な効力感というのは重要なポイントになるかと思います。おおらかで朗らかであり、積極的で主体性が高いという長所を削ることなく、受験や偏差値に表れるような学力を向上させる…、「そんなことできるわけがないだろう」という声が聞こえてきそうですが、それこそが我々のプロフェッショナルが問われるということにはほかなりません。などと上段から小職などが説くのはまことにおこがましいことでした。次年度も新しい校長先生のリーダーシップのもとで、これまでの上昇機運をさらに盛り上げ、生徒たちが勉強から目を背けることなく、しかも一中・一高らしい長所を磨いていかれることと確信しております。最後に、「重点目標③：より良い授業を追求する」のうちの「特別な教科道徳の授業力の向上を図る。」が未着手になってしまった点について、これはまさに上に述べた課題への効果的なアプローチの一つとなると思われますので、次年度に再チャレンジされることを期待するものであります。また、防災や高大連携などの喫緊の課題についても、特に大学各学部との連絡・連携を強化していくことが重要であると感じています。もちろん、我々人間健康学部も、よりよい協力体制を作れるように尽力する所存であります。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 6 校長の意見書

関西大学第一高等学校・第一中学校

校長 狩場治秀

本校では、学力をつけることのみにとらわれる教育ではなく、「正義を重んじ、誠実をつらぬく」を教育方針とし、知、徳、体のバランスのとれた生徒育成を目指し、生徒自らがやりたいことに積極的に取り組める環境を整え、勉強のみならず部活動や生徒会活動等を通じて人間力を養う教育を行うことを目指し日々努力している。質問項目にある「楽しく充実した学校生活を送っている」と感じている生徒や保護者が昨年度までと同様 93%から 95%と肯定的な回答が多く見られた。また、新校舎景風館の完成で明るく開放的な雰囲気での学習ができる環境が整いつつあることも影響していると思われるが、これにおごることなく教育環境の充実に努めていきたいと考える。そして他のアンケート結果から、中学校の生徒・保護者の学校への充実ぶりが向上しているのが目をひく。「入学前に描いたイメージ通りの学校でしたか」「教員に対する相談」「人権に配慮した生徒との接し方」の回答が、それぞれ昨年より7%から9%アップしているのは、中学校としてよりよい指導ができていないかと思慮される。今後も続けていきたい。ここで毎年話題に上がる「中高大連携事業の実践」については、今年度から初めて高校1・2年生全生徒を対象に大学の各学部を学校にお招きし、「関大セミナージャンボリー」を行ったことが、生徒の関心を深めているように思われる。中学校も今まで以上の大学との連携を模索したいが、今年度から中学1年生が台湾の公立中学1年生とSNSをつなぎ、交流を初めて持つことができた。今後、どのようにつながっていくことができるか楽しみである。そして、「いじめへの対応につい

て」である。「いじめの実態把握と防止」に関しては、教員、生徒、保護者とも高い回答をいただいたが、「いじめを許さない指導」に関しては、これからも教員一丸となって徹底していかねなければいけないと考える。知育、徳育、体育のバランスのとれた生徒育成を目指すには、これらの結果に満足せず、来年度末には新校舎新棟2が完成予定であるが、電子機器等を活用した一歩進んだ関西大学第一高等学校及び第一中学校に育て上げ、生徒や保護者により一層満足してもらえよう、教職員一同努力していく。

## 7 アンケート結果 資料

資料1 2023 年度 学校評価集計結果表（教員）

資料2 2023 年度 学校評価集計結果表（保護者：高校）

資料3 2023 年度 学校評価集計結果表（保護者：中学校）

資料4 2023 年度 学校評価集計結果表（生徒：高校）

資料5 2023 年度 学校評価集計結果表（生徒：中学）

以 上

2024年度 学校評価 集計結果表

集計対象	教員
------	----

有効回答数	61
-------	----

No	設問文	回答数				満足度グラフ
		4. あてはまる	3. ややあてはまる	2. あまりあてはまらない	1. あてはまらない	
1	本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる。	40	19	1	1	65.6% 31.1% 2%
2	本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い。	20	40	1	0	32.8% 65.6% 2%
3	学校宣伝(HP・学校パンフ・説明会など)は、本校の教育内容を適切に伝えている。	38	22	1	0	62.3% 36.1% 1.6%
4	建学の精神に基づく教育方針・教育目標は、教職員・保護者などの関係者によく浸透している。	12	41	8	0	19.7% 67.2% 13.1% 0%
5	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。	3	28	19	11	4.9% 45.9% 31.1% 18.0%
6	警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている。	32	25	3	1	52.5% 41.0% 4.9%
7	災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられている。	20	30	8	3	32.8% 49.2% 13.1%
8	校内での感染症拡大防止策は、適切に行われている。	21	30	9	1	34.4% 49.2% 14.8%
9	学力向上のための組織的な取り組みを行っている。	11	32	18	0	18.0% 52.5% 29.5% 0%
10	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っている。	16	31	14	0	26.2% 50.8% 23.0% 0%
11	学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との懇談や連絡を緊密に行っている。	29	29	3	0	47.5% 47.5% 4.9%
12	生徒に学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取り組みを行っている。	23	31	7	0	37.7% 50.8% 11.5%
13	いじめの実態把握に努め、生徒が発する危険信号等を見逃さないようにして早期発見に努める体制が整い、学校組織として共有できている。	30	29	2	0	49.2% 47.5% 3%
14	情報機器の正しい使い方について、適切な指導をおこなっている。	15	34	12	0	24.6% 55.7% 19.7% 0%
15	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を行っている。	28	29	2	2	45.9% 47.5% 3%
16	学習や部活動の施設・設備は充実している。	7	25	24	5	11.5% 41.0% 39.3% 8%
17	関一祭や体育大会などの学校行事において、生徒会や各委員会は積極的に活動している。	31	29	1	0	50.8% 47.5% 1.6%
18	宿泊行事や校外学習など、校外での活動・学習は、生徒の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習を促すことに役立っている。	30	29	2	0	49.2% 47.5% 3.3%
19	本校の芸術・美術鑑賞は、充実している。	28	32	1	0	45.9% 52.5% 1.6%
20	勉強や学校生活について、生徒からの質問や相談を受けやすい関係を作っている。	25	35	1	0	41.0% 57.4% 1.6%
21	生徒の人権に配慮した指導をおこなっている。	25	35	1	0	41.0% 57.4% 2%
22	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われている。	11	35	15	0	18.0% 57.4% 24.6% 0%
23	進路に関する情報は、生徒に提供されている。	18	35	8	0	29.5% 57.4% 13.1% 0%
24	生徒・保護者の悩みに対して、教員による相談体制やカウンセリング体制が学校全体として整っている。	22	36	3	0	36.1% 59.0% 4.9%
25	本校は、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための校内外の研修体制が充実している。	17	31	13	0	27.9% 50.8% 21.3% 0%
26	保護者ポータルサイトを有効に活用できていると思われませんか。	30	28	3	0	49.2% 45.9% 5%

集計対象	保護者
------	-----

有効回答数	778
-------	-----

No	設問文	回答数				満足度グラフ
		4. あてはまる	3. ややあてはまる	2. あまりあてはまらない	1. あてはまらない	
1	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われませんか。	404	312	56	6	51.9% 40.1% 7.2%
2	保護者として、この学校に入学させてよかったと思われませんか。	434	297	42	5	55.8% 38.2% 5.4% 1%
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージ通りでしたか。	230	403	130	15	29.6% 51.8% 16.7% 2%
4	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	246	464	62	6	31.6% 59.6% 8.0% 1%
5	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか。	161	458	147	12	20.7% 58.9% 18.9% 2%
6	災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられていると思われませんか。	158	420	185	15	20.3% 54.0% 23.8% 2%
7	校内での感染症拡大防止対策は、適切に行われていると思われませんか。	168	437	156	17	21.6% 56.2% 20.1% 2%
8	本校は学力向上のために組織的な取り組みを行っていると思われませんか。	164	382	205	27	21.1% 49.1% 26.3% 3%
9	iPadなどの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると思われませんか。	286	402	78	12	36.8% 51.7% 10.0% 2%
10	習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取り組みが十分に行われていると思われませんか。	159	402	187	30	20.4% 51.7% 24.0% 4%
11	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われませんか。	208	388	154	28	26.7% 49.9% 19.8% 4%
12	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取り組みが行われていると思われませんか。	245	421	101	11	31.5% 54.1% 13.0% 1%
13	いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われませんか。	223	442	102	11	28.7% 56.8% 13.1% 1%
14	情報機器の正しい使い方に関する指導が適切に行われていると思われませんか。	161	455	146	16	20.7% 58.5% 18.8% 2%
15	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われませんか。	232	439	99	8	29.8% 56.4% 12.7% 1%
16	学習や部活動の施設・設備は充実していると思われませんか。	282	359	115	22	36.2% 46.1% 14.8% 3%
17	宿泊行事や校外学習など、校外での活動・学習は、ご子女の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習を促すことに役立っていると思われませんか。	259	423	85	11	33.3% 54.4% 10.9% 1%
18	古典芸能鑑賞は、ご子女の情操教育に役立っていると思われませんか。	180	396	177	25	23.1% 50.9% 22.8% 3%
19	勉強や学校生活について、ご子女から教員に質問や相談ができる関係が作られていると思われませんか。	175	412	169	22	22.5% 53.0% 21.7% 3%
20	教員の指導方法は、人権に配慮したものになっていると思われませんか。	213	450	91	24	27.4% 57.8% 11.7% 3%
21	高大の教育連携が積極的に行われていると思われませんか。	266	405	99	8	34.2% 52.1% 12.7% 1%
22	ご子女の進路に関する情報は、提供されていると思われませんか。	285	392	89	12	36.6% 50.4% 11.4% 2%
23	ご子女に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思われませんか。	194	427	142	15	24.9% 54.9% 18.3% 2%
24	本校の教員は、教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われませんか。	166	447	144	21	21.3% 57.5% 18.5% 3%
25	食堂は、利用しやすいと思われませんか。	162	394	186	36	20.8% 50.6% 23.9% 5%
26	欠席連絡やお知らせの配信など、保護者ポータルサイトを有効に活用できていると思われませんか。	391	327	56	4	50.3% 42.0% 7.2%

集計対象	保護者
------	-----

有効回答数	509
-------	-----

No	設問文	回答数				満足度グラフ
		4. あてはまる	3. ややあてはまる	2. あまりあてはまらない	1. あてはまらない	
1	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われませんか。	268	206	26	9	52.7% 40.5% 5.1% 2%
2	保護者として、この学校に入学させてよかったと思われませんか。	287	188	31	3	56.4% 36.9% 6% 1%
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージ通りでしたか。	145	269	81	14	28.5% 52.8% 15.9% 3%
4	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	184	287	37	1	36.1% 56.4% 7.3% 0%
5	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか。	149	275	78	7	29.3% 54.0% 15.3% 1%
6	災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられていると思われませんか。	146	256	93	14	28.7% 50.3% 18.3% 3%
7	校内での感染症拡大防止対策は、適切に行われていると思われませんか。	115	297	86	11	22.6% 58.3% 16.9% 2%
8	本校は学力向上のために組織的な取り組みを行っていると思われませんか。	118	260	117	14	23.2% 51.1% 23.0% 3%
9	iPadなどの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると思われませんか。	160	266	69	14	31.4% 52.3% 13.6% 3%
10	習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取り組みが十分に行われていると思われませんか。	128	238	122	21	25.1% 46.8% 24.0% 4%
11	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われませんか。	159	239	103	8	31.2% 47.0% 20.2% 2%
12	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取り組みが行われていると思われませんか。	175	266	57	11	34.4% 52.3% 11.2% 2%
13	いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われませんか。	152	295	55	7	29.9% 58.0% 10.8% 1%
14	情報機器の正しい使い方に関する指導が適切に行われていると思われませんか。	122	278	95	14	24.0% 54.6% 18.7% 3%
15	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われませんか。	173	285	45	6	34.0% 56.0% 8.8% 1%
16	学習や部活動の施設・設備は充実していると思われませんか。	250	201	49	9	49.1% 39.5% 9.6% 2%
17	宿泊行事や校外学習など、校外での活動・学習は、ご子女の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習を促すことに役立っていると思われませんか。	265	198	46	0	52.1% 38.9% 9% 0%
18	芸術鑑賞会や美術鑑賞会は、ご子女の情操教育に役立っていると思われませんか。	236	232	40	1	46.4% 45.6% 8% 0%
19	勉強や学校生活について、ご子女から教員に質問や相談ができる関係が作られていると思われませんか。	112	267	117	13	22.0% 52.5% 23.0% 3%
20	教員の指導方法は、人権に配慮したものになっていると思われませんか。	153	278	64	14	30.1% 54.6% 12.6% 3%
21	中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われていると思われませんか。	101	271	120	17	19.8% 53.2% 23.6% 3%
22	ご子女の進路に関する情報は、提供されていると思われませんか。	146	273	87	3	28.7% 53.6% 17.1% 1%
23	ご子女に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思われませんか。	145	292	65	7	28.5% 57.4% 12.8% 1%
24	本校の教員は、教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われませんか。	134	276	84	15	26.3% 54.2% 16.5% 3%
25	食堂は、利用しやすいと思われませんか。	124	225	137	23	24.4% 44.2% 26.9% 4.5%
26	欠席連絡やお知らせの配信など、保護者ポータルサイトを有効に活用できていると思われませんか。	265	211	29	4	52.1% 41.5% 5.7% 1%

2024年度 学校評価 集計結果表

集計対象	生徒
------	----

有効回答数	972
-------	-----

No	設問文	回答数				満足度グラフ
		4. あてはまる	3. ややあてはまる	2. あまりあてはまらない	1. あてはまらない	
1	学校生活は楽しいと感じていますか。	565	358	39	10	58.1% 36.8% 4.1%
2	この学校に入学してよかったと思いますか。	439	446	61	26	45.2% 45.9% 6.3% 3%
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージ通りでしたか。	210	459	236	67	21.6% 47.2% 24.3% 6.9%
4	本校の教育方針を理解していますか。	278	466	174	54	28.6% 47.9% 17.9% 5.6%
5	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	329	488	126	29	33.8% 50.2% 13.0% 3%
6	災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられていますか。	315	439	180	38	32.4% 45.2% 18.5% 4%
7	校内での感染症拡大防止策は、適切に行われていると思いますか。	271	459	200	42	27.9% 47.2% 20.6% 4%
8	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	240	458	217	57	24.7% 47.1% 22.3% 6%
9	iPadなどの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると思いますか。	557	329	62	24	57.3% 33.8% 6.4% 2%
10	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。	366	457	112	37	37.7% 47.0% 11.5% 4%
11	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	468	377	98	29	48.1% 38.8% 10.1% 3%
12	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	316	441	152	63	32.5% 45.4% 15.6% 6%
13	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	386	411	122	53	39.7% 42.3% 12.6% 5%
14	情報機器の正しい使い方に関する指導によって、規範意識が高まったと思いますか。	374	446	115	37	38.5% 45.9% 11.8% 4%
15	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	433	435	82	22	44.5% 44.8% 8.4% 2%
16	学習や部活動の施設・設備は充実していると思いますか。	435	380	116	41	44.8% 39.1% 11.9% 4%
17	体育祭、関一祭において、生徒会や各委員会は活躍していたと思いますか。	577	336	42	17	59.4% 34.6% 4% 2%
18	宿泊行事や校外学習など、校外での活動、学習は充実していると思いますか。	403	343	159	67	41.5% 35.3% 16.4% 6.9%
19	狂言・文楽鑑賞会は、古典芸能に触れるいい機会だったと思いますか。	443	406	73	50	45.6% 41.8% 7.5% 5%
20	勉強や学校生活について、先生に質問や相談ができる雰囲気でしたか。	379	432	121	40	39.0% 44.4% 12.4% 4%
21	先生の指導方法は、人権に配慮したものであると感じますか。	395	411	109	57	40.6% 42.3% 11.2% 6%
22	高大の教育連携があると思いますか。	446	398	98	30	45.9% 40.9% 10.1% 3%
23	進路に関する情報は、提供されていると思いますか。	513	375	60	24	52.8% 38.6% 6.2% 2%
24	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いますか。	335	458	134	45	34.5% 47.1% 13.8% 5%
25	工夫された授業や、おもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	349	397	181	45	35.9% 40.8% 18.6% 4.6%
26	食堂は、利用しやすいですか。	546	302	92	32	56.2% 31.1% 9.5% 3%

2024年度 学校評価 集計結果表

集計対象	生徒
------	----

有効回答数	607
-------	-----

No	設問文	回答数				満足度グラフ
		4. あてはまる	3. ややあてはまる	2. あまりあてはまらない	1. あてはまらない	
1	学校生活は楽しいと感じていますか。	368	204	28	7	
2	この学校に入学してよかったと思いますか。	354	216	29	8	
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージ通りでしたか。	134	315	126	32	
4	本校の教育方針を理解していますか。	195	312	80	20	
5	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	276	269	51	11	
6	災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられていますか。	280	253	58	16	
7	校内での感染症拡大防止策は、適切に行われていると思いますか。	231	275	85	16	
8	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	222	270	94	21	
9	iPadなどの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると思いますか。	357	201	36	13	
10	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。	254	245	84	24	
11	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	340	217	40	10	
12	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	234	282	62	29	
13	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	279	226	75	27	
14	情報機器の正しい使い方に関する指導によって、規範意識が高まったと思いますか。	280	257	57	13	
15	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	351	225	27	4	
16	学習や部活動の施設・設備は充実していると思いますか。	384	185	31	7	
17	球技大会、体育大会、合唱コンクールにおいて、生徒会や各委員会は活躍していたと思いますか。	408	164	27	8	
18	宿泊行事や校外学習など、校外での活動、学習は充実していると思いますか。	438	142	19	8	
19	芸術鑑賞会の内容は満足のいくものでしたか。	346	209	40	12	
20	勉強や学校生活について、先生に質問や相談ができる雰囲気でしたか。	229	265	93	20	
21	先生の指導方法は、人権に配慮したものであると感じますか。	277	251	53	26	
22	中大、中高の学校同士の教育連携があると思いますか。	233	258	89	27	
23	進路に関する情報は、提供されていると思いますか。	292	256	50	9	
24	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いますか。	226	258	98	25	
25	工夫された授業や、おもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	369	199	34	5	
26	食堂は、利用しやすいですか。	376	150	62	19	